

Peace Quest 2006 autumn-winter

実施報告書

1/Jan. 2007

SPUTNIK INTERNATIONAL JAPAN

ご挨拶

この度は、皆様のご協力のおかげで、「PEACE QUEST 2006 Autumn-Winter」を大成功させることができました。概要を下記に記し、報告とさせていただきます。

まだまだ至らない点多々ございますが、今後ともご指導、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

SPUTNIK International JAPAN 一同

目的

2004年12月26日、クリスマスにツリーの下に置かれたプレゼントを正式にオープンするボクシングデー（Boxing Day）にスマトラ沖で大地震が発生しました。その数時間後、巨大な津波が周辺のアジア諸国を襲いました。スリランカもその被災地の1つです。2005年6月27日現在で死者38,800人、行方不明者5,563人。この津波で怪我をした人15,196人、そして家をなくした人403,245人。

津波からちょうど2年となる12月26日に原宿クエストホールで「Peace Quest 2006 Autumn-Winter」チャリティーコンサートが開催されました。今回のコンセプトは、音楽と踊りでの異文化交流です。詳細は下記をご覧ください。

SPUTNIKは6年間にわたり、スリランカと深く関わってきました。今後も、様々なプロジェクト（奨学金プロジェクト、語学教育プロジェクト、スリランカ高校生日本留学招聘支援プロジェクト、孤児院建設プロジェクト、環境プロジェクト、井戸建設プロジェクト、学生スタディーツアープロジェクト他）を推進しております。今回のイベントの収益金は全てがこれらの活動のために寄付されます。今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。今後とも、SPUTNIK International Japanへの応援、宜しく願いいたします。

資金用途

- 奨学金 5,000円×20名=10万円
- 国際教育文化交流センター維持運営補助費 1年分=12万円
- シニアセンター 運営維持補助費 1年分=12万円
- 日本語教師その他教育サポート補助費 1年分=12万円
- 平成18年度奨学生渡航費 補助費 1名分=25万円
- 孤児院運営維持補助費 1年分=36万円

合計 107万円

実施概要

Peace Quest2006Autumn-Winter

主催: SPUTNIK International Japan

日時: 2006年12月26日(火)19:00~(開場 18:00)

会場: 原宿クエストホール[東京都渋谷区神宮前1-13-14]

特別協力: 原宿クエストホール

協力: ミチコーポレーション/板蔵/ベーカリーカフェ 632 原宿/韓国農林省傘下機関 農水産物流通公社 東京 aT センター/
韓国広場/ドール

後援: スリランカ大使館/スリランカ政府観光局/日本青年会議所/エイエフェス日本協会/日本スリランカ協会 他(順不同)

協賛: ドクターシーラボ/シーズ・ラボ/スリランカ航空/生活の木/ジンテック/英治出版/エムイージー/Koo & Co/ナレッジパーク/
赤坂陽光ホテル/Rama Dbk (順不同)

入場者数: 約 200名

プログラム:

司会進行 秋沢淳子 (SPUTNIK International Japan 理事)

19:00~19:05 開会挨拶

19:05~19:40 プレゼンテーション: SPJ 活動報告+キャンディアンダンス

19:40~20:25 コンサート(ティ・エム・ホッフマン+アブドゥル・ラーマン)

20:25~20:45 休憩

20:45~21:15 日舞(葵流二代目家元 葵 七皆)

収支報告

●収入の部

協賛金		¥500,000
協賛金	物販の一部	¥900
寄付金		¥1,299,000
売上	ぞうさんペーパー、紅茶など	¥92,000
その他寄付		¥4,500
合計		¥1,896,400

●支出の部

音響・照明・会場		¥390,000
仕入れ	物販	¥23,000
運営・制作費	運営及びチラシ・パンフレット他	¥50,000
飲食費		¥40,000
雑費		¥25,000
合計		¥528,000

総合計

収入 1,896,400-支出 528,000=¥1,368,400

※上記は概算です。

今回のコンサートの収益金(¥1,368,400)は全てが上記「資金用途」に使われます。また、残りは2007年オープン予定の孤児院建設に追加し使わせていただきます。本当に皆様ありがとうございました。

今後とも、目に見える支援をモットーに、私達にできることを無理せず、笑顔で、前向きに進めていきたいと考えています。今後とも、SPUTNIK International Japanへの応援、宜しくお願いいたします。

また、進捗などにつきましてはホームページに随時あげてまいりますので、時々ご覧いただければ幸いです。

今後とも宜しくお願い致します。

SPUTNIK International Japan 一同

<http://sputnik-international.jp/>